

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス小祿教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士や児童指導員、運動療育指導員及び作業療法士など専門的な知識を持つ職員を配置し、支援体制を整えています。	・特に気になる児童や発達に課題のある子どもへの対応の仕方について定期的に検討会を行い、専門的な視点から対応ができるように職員の資質向上に取り組んでいます。	・引き続き事業所内で検討会を定期的開催することに加え、より質の高い支援を行うために事業所外から講師などを招いて職員の勉強会を開く取り組みなどを検討します。
2	・職員間の情報交換や意見交換を積極的に行い、風通しの良い職場環境作りを行っています。	・朝礼、昼礼、終礼等を通して情報共有を密に行い、また管理者との定期的な面談を行うことで職員の意見や考えを聞き取る機会を設けています。	・全職員がそれぞれの意見等について発言しやすい雰囲気作りにより一層取り組んでいます。
3	・保護者交流会や療育参観などの機会を設け、児童だけでなく保護者支援にも取り組んでいます。	・ご家族が安心して子どもを通わせることができるよう、開けた事業所作りを意識しています。	・今後は保護者支援だけでなく、きょうだい同士の交流の機会を設けるためのイベント開催等も検討します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所や認定こども園等との交流や、地域で他のこどもと活動する機会が少ないかもしれません。	・保育所や認定こども園に対して、事業所が行っている発達支援の取り組み等への周知が十分でない可能性があります。	・モニタリングや担当者会議を通して事業所としての取り組みや支援方法など情報共有を行い、保育所や認定こども園等との連携を深め、交流の場を設ける機会が作れないか相談検討していきます。
2	・非常時の対応など、保護者や職員への説明が不十分な部分があると思われます。	・マニュアルの整備は完了しているが、保護者や職員へ周知する機会が十分でない可能性があります。	・保護者に対しては資料の配布や公式ライン等で周知する機会を設けていきたいと考えています。また、職員全体で非常時の対策について確認するための時間を確保し、避難訓練以外でも対応や手順など共通理解を深める機会を設けていきます。
3	・保護者への児童の様子などについて、情報共有の機会が十分ではない可能性があります。	・児童のその日の様子を職員間で共有する方法や、保護者への申し送り方法などについてさらなる工夫が必要だと考えられます。	・職員間では、事業所のグループLINEや職員同士の申し送りなどを通じて、引き続き密に情報共有を行います。また、写真や動画を活用し、発達課題だけでなく子どもができるようになったことなども含めて、成長の全体像を保護者に伝えられるよう今後も心がけていきます。